

第 4 回板橋区荒川市民会議

●開催日

平成 24 年 6 月 25 日 (月)
午後 18 時 00 分から午後 20 時 00 分

●開催場所

板橋区役所 9 階 大会議室 A

●出席者

12 名 (全構成員 : 16 名)

●議題

- 1 開会・資料説明・次第説明
- 2 議事録確認委員の選出
- 3 議事内容
 - 1) 荒川将来像計画 2010 地板橋区別計画(板橋区編)
パブリックコメントの意見及びその回答について
 - 2) 戸田橋上流の自然地について
- 4 報告事項
 - 1) 森林ボランティア報告 (資料 3)
 - 2) 荒川河川敷で発生した火災について (資料 4)
 - 3) 平成 24 年度 東京消防・板橋区合同総合水防訓練報告 (資料 5)
 - 4) 荒川河川敷における陸上自衛隊レンジャー訓練の実施状況について (資料 6)
 - 5) 平成 24 年度の工事情報について (資料 7)
 - 6) 防災施設運用協議会について (資料 8)
 - 7) 緊急時の情報収集について (資料 9)
 - 8) 笹目橋下流河川敷の状況について (資料 10)
- 5 その他の報告事項
 - 1) 第 34 回荒川の将来を考える協議会について
(資料 11)
 - 2) 荒川下流域変遷誌について



委員の変更

荒川下流河川事務所 所長：波多野 真樹、品質確保課長：星野 博 (4月の人事異動に伴う変更)

2. 議事録概要作成委員の選出

梅村委員、野田委員

3. 議事内容

- 1) 荒川将来像計画 2010 地区別計画（板橋区編）パブリックコメントの意見及びその回答について

事務局(区)：パブリックコメントの説明

5/21～6/18 まで意見の募集を行った。頂いた意見は1件。

※別紙資料参照

内容については、直接地区別計画の中身ではないため、現在の地区別計画は変更しない。

議長) 件数は少ない。全体計画策定後の具体策についてが主な内容であった。

委員) 「板橋区内部での調整」のNo.2について、地板橋区別計画P17の最後、「この計画の充実、改善を」はパブコメに入っているが、その前の「今後、運用しながら」というのは入っていない。入れた方がよいのでは。

行政委員) 事務局のミスなので修正します。

委員) 自然環境学習の場となることは～と書いてあるけど実績はあるのか。

行政委員) 小学校からの申し出で利用されていることはあるが、年間数件程度

委員) 板橋区では利用促進のための具体的な方法論はあるのか。

行政委員) 小学校から授業で使いたいという申し出があれば積極的に対応するが、現在状況が状況だけに、殆ど活用されていない。

委員) それでは、さらなる広報に努めるというのが承服できない。

委員) この文章では、パブリックコメントへの対応はこの通り完璧です。これで充分です。という感じでこれ以上、板橋区民が荒川のためにより良くしようという気持ちが無くなってしまわないのか。具体的には、1. 子ども用のパンフレットは検討するとあるが、具体的にどのように検討するのか。2. 板橋区民の皆様の意見をうかがいながらとあるが、具体的にどのように板橋区民から意見をきくのか。3. ボランティア基金の集まり状況はどうか。最近ボランティア申請の認可状況はどうか。4. 公園に対する助成金制度について、どのようにすれば適用されるのか。

行政委員) この計画は基本計画なので、具体的にどうするかというのは次の段階です。

重要なのは板橋区民の皆さんと話し合う場を確保することです。

委員) 板橋区民が荒川をもっと良くしたい、と思わせる回答になっていない。

議長) 計画のP3「検討体制」について、板橋区民の意見を聴取する場はこの市民会議であるが、この市民会議が今後続くのかどうかは不透明であり、それに代わる、今後計画を運用していくための意見の聴取の場を確保することを考えなければならないのではないか。

事務局(荒下) 当面は、市民会議の名を残していき、新しい組織でフォローアップしていくということを検討しているところですので、結論はもう少し待ってほしい。

議長) 国交省さんだけでなく、板橋区としても、板橋区独自で、板橋区民の意見を聞く場を作ることを考えてほしい。

事務局(区) 先程の話の通り、あくまで基本計画段階なので、「さらなる広報に務める」という文言とさせていただきます。

行政委員) 板橋区の考え方の表現が後ろ向きということでしたが、もう少し表現を工夫します。今すぐにといいわけにはいかないが、回答を修正します。

委員) 資金援助や助成金制度など、差し障りのあるものは触れない方がよい
行政委員) 確かに審査が厳しい等の状況は聞いておりますので、アピールし過ぎないように、表現を工夫します。

委員) 難しいと考えるという表現ではなく、現状でダメならダメと言った方がよいのではないか。
行政委員) 仰る通りなので修正します。

議長) P8 土地利用区分について、スポーツをする人にとっても、それを応援しにくる人にとってもいい環境を作っていくということも目的だと思う。いわゆるエコアップの考え方である。また、自然保全地の利用例にモニタリング調査となっているが、自然観察にも利用できる、これだと調査機関しか入れないように見える。

行政委員) 自然観察であれば自然保全地でも可能なので加えます。
エコアップについて、うまくまとめている区はありますか。

議長) 計画のP17に書いてある「～自然度を向上させる」という文言でよいのではないか。

委員) 表の外に注釈で文言を入れればどうか。
行政委員) 文言は国交省とも調整します。

2) 戸田橋上流の自然地について

事務局(荒下) 前回の運営会議の際に、地区別計画がある程度形になってきたので、次の議題となる項目として以前話の出た戸田橋上流部の自然地について次第に載せた。また、地区別計画P25の管理区分について、以前どこが管理しているのかということがあったが、確認した結果、水際は国で河川敷については板橋区が占有している。

行政委員) 板橋区の占有は、グラウンドまでで、自然地までは占有していない。以前、占有杭の位置を確認してもらっている。

事務局(荒下) 再度確認する。

4. 報告事項

1) 森林ボランティア報告

事務局(区) (資料3) 説明

2) 荒川河川敷で発生した火災について

事務局(区) (資料4) 説明

委員) リサイクルプラザの人は燃えていることに気が付かなかった。

3) 平成24年度 東京消防・板橋区合同総合水防訓練報告

事務局(区) (資料5) 説明

委員) 実際の災害になったら、訓練みたいにおいっちに、おいっちにとはいかない
のではないか。

事務局(区) 訓練自体は消防のルールに則ってやっているということです。指揮命令系統は
しっかりしている。

委員) 住民は参加しているのか?

事務局(区) 地味で目立たないが、かなり大人数に参加してもらっている。

4) 荒川河川敷における陸上自衛隊レンジャー訓練の実施報告について

事務局(区) (資料6) 説明

5) 平成24年度の工事情報について

事務局(荒下) (資料7) 説明

委員) 工事の長期計画を出してもらえるとありがたい。

また、ダンプなどの通る部分が非常に荒れる。板橋区民のイベントを行うときに、
工事の責任者に穴を塞ぐよう言ったこともあった。なんとか気を使ってもらえな
いか。

事務局(荒下) 工事スケジュールの情報が遅くなり申し訳ありません。

意見があったことは工事の部署に話しておきます。また、河川敷道路については、
明らかに通行の支障になる陥没については補修するよう調整したいと思います。

委員) それは例えば、イベントの1週間前とかに話をしても工事をしてくれるのか。
いつまでに言えばいいのか。

行政委員) まず、工事情報についてですが、工事の許可が上部機関から下りるのが年度当初
です。来年度からは工事の諸情報については、年度当初に許可が出次第、公開し
ます。次に、緊急道路の件については、基本的には消防や自衛隊などの通行が支
障なくできるようにというのが目的なので、ランニングに支障がある等の理由だ
けでは正直難しい。

委員) 足立区で自転車専用通路を試験的に作ったが、板橋区民からは自転車が怖い
と意見が多数寄せられているにも拘わらず、なぜ作ったのか。

行政委員) 自転車専用の道路を作ったのではなく、棲み分けをすることで安全を確保できな
いかということです。歩行者がいれば止まってもらうか、迂回をしてもらいます。

委員) ランニング人口が多くなったが、都内では規制だらけである。行政にも、もう少
し配慮願いたい。

6) 防災施設運用協議会について

事務局(荒下) (資料8) 説明

委員) 2. 作成に向けた検討について、発生場所はどのように考えているのか、海か
らか、或いは富士山の噴火なんてことも考えているのか。

行政委員) 想定しているはいわゆる首都直下地震です。荒川の沿川は密集市街地が多いので、
火災が発生しやすい。そうなったときに、幹線道路も使用できなくなる状態が
長期間続く可能性がある。唯一支障なく使用できるエリアが河川であり河川敷で
ある。実働省庁(自衛隊、警察、消防等)が支障なく使用できるように、施設管
理者としてルールを作り、迅速な救助活動に供与するのが目的です。

委員) 河川敷に活断層の影響はあるのか。

行政委員) もし活断層があれば、ずれが出来ることもありえますが、河川敷は土なので応急

対策が取れる。また、車両では越えられない段差が生じたときも、自衛隊が簡易橋梁で容易に対応できる。河川敷についてはあまり影響がないと思います。

7) 緊急時の情報収集について

事務局(荒下) (資料9) 説明

8) 笹目橋下流河川敷の状況について

事務局(荒下) (資料10) 説明

側溝に水が溜まって流れずに、悪臭が発生しているということで、現地の確認をした。当該箇所は占用地のため直接荒下が対応はできない。相手がいるので出来るかどうかはわからないが、なにか対応が取れないか調整を図りたい。

委員) 大規模自然地になっており、他の場所より低い。少し掘ればすぐ水が湧き出てしまうので、対策は難しいのではないか。

5. その他報告事項

1) 第34回荒川の将来を考える協議会について

荒下) (資料11) 説明

2) 荒川下流変遷誌について

荒下) 荒川下流変遷誌についての説明

6. 閉会

次回 10/下旬予定、運営 9/下旬～10/初旬予定、詳細決定後連絡

次回の運営会議は、平成24年9月下旬から10月初旬、市民会議は10月下旬を予定。
(詳細決まり次第、連絡)